（様式１）青字の注意事項は、提出時には削除願います。

**履　　　歴　　　書**

　　年　月　日作成

**氏名（パスポート表記）**

**国籍**

**性別**

**生年月日**　１９○○年○月○○日生（○○歳）

**現住所**　　○○県○○市○○○○ ○丁目○－○

**TEL**

**E-mail**

**現在の職務状況**

勤務先　　　学部等又は所属部局の名称　　　職名

○○大学　　大学院○○○学研究科　　　　　○○

**学　　 歴**

１９○○年４月～１９○○年３月 ○○県立○○高等学校在学（卒業）

１９○○年４月～１９○○年３月 ○○大学○学部在学（卒業）

１９○○年４月～１９○○年３月 ○○大学大学院○学研究科修士課程○○学専攻在学（修了）

１９○○年４月～１９○○年３月 ○○大学大学院○学研究科博士後期課程○○学専攻在学（修了）

**学 　　位**

１９○○年○月　 　　博士（○学）（○○大学）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　「○○○○○○○○に関する研究」

**職 　　歴**

１９○○年４月～１９○○年３月 日本学術振興会特別研究員（ＤＣ/ＰＤ）（○○大学○○研究所）

１９○○年４月～１９○○年３月 ○○大学○学部助手

１９○○年４月～２００７年３月 ○○大学○学部助教授

２００７年４月～現在 ○○大学○学部准教授

この間

１９○○年○月～１９○○年○月 ○国○○○○大学博士研究員

**賞 　　罰**

（賞）１９○○年○月 　　○○学会○○○○賞

（罰）なし

（様式１）

**学会及び社会における活動**

１　学会活動

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 学会等の名称 | 現在の状況 | 役職等（年月）　過去5年で特にアピールしたい役職 |
| 日本○○学会 | 正　会　員 | ○○委員会委員（２０○○年○月） |
| 日本○○学会 | 正　会　員 | ○○会参与（２０○○年○月） |
| 日本○○学会 | 正　会　員 |  |
|  |  |  |

２　社会連携・国際交流活動（１　学会活動を除く）

　　産官学共同研究　　○○省○○プロジェクト

　　研究会等　　　　　○○会議，○○研究会，○○セミナー等の企画，開催等

　　学外委員会等　　　○○委員会委員長，○○審議会委員

　　国際共同研究　　　○○大学と○○に関する共同研究

　　国際研究集会　　　○○国際会議，○○研究会，○○セミナー等の企画，開催等

上記のとおり相違ありません。

　　２０○○年○月○○日

　　　　　　　　　　　　　氏　名（自署）　　○　○　○　○

（様式２）

**教育に関する経歴書**

１．学部学生指導状況

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  学 部 ・ 学科等名 | 　 授業科目名　 及び単位数 | 講義・演習・実験・実習の別 |  講義等の内容 及び教育上特に実施した事項（１００字以内） |
| ○○学部○○学科 | ○○○○論 | 　講 義 |  |
|  同上 | ○○○○実験 |  実験実習 |  |
|  |  |  |  |

　注）１　本様式に代えて講義要覧（シラバス）の写とすることができる。

 　　（「教育に関する経歴書」と表題を付すこと。）

 ２　大学以外での教育に関する事項は，本様式に準じて作成すること。

２．大学院学生指導状況

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 研究科名 | 修士・博士の別 | 指導人数 | その他参考事項 |
| ○○○学研究科 | 修士 | ○人 |  |
| ○○○学研究科 | 博士 | ○人 |  |
|  |  |  |  |

　　研究指導担当の資格審査が未受審の場合の論文指導等は『研究指導補助』と記載すること。

３．教育上の能力に関する特記事項

下記の観点で、特にアピールしたい特記事項があれば記入のこと

A. 作成した教科書，教材

B. 所属組織からの内部評価（賞、授業評価アンケート結果など）

（様式３）

　　　　　　　　　　　　　　研 究 業 績 の概 要 書

　主な研究内容の概要を５項目に絞り，各項目４００字程度にまとめること。 内容に対応する原著論文の番号(様式４の番号を記載)も付記する。

 [1]　○○○○○○に関する研究（原著論文 ○，○，○）

 １９○○年○月から○○○○○○○○○○○○は世界の注目を集めている。

 [2] ○○○○○○に関する研究（原著論文 ○，○，○）

 １９○○年○月から○○○○○○○○○○○○できることを明らかにした。

 [3] ○○○○○○に関する研究（原著論文 ○，○，○）

 １９○○年○月から○○○○○○○○○○に関する有益な知見を得ている。

 [4] ------------

 [5] ------------

（様式４）

**研究業績目録**

１．学位論文： Title

 　　（博士（○学），○○大学，19○○年○月）

２．原著論文（古い年次順で記載）

1) Author(s) （候補者名にアンダーライン）, Title, *Journal* **Volume**, 000-000 (20xx).

 （雑誌名はイタ，巻数はゴチ）

記入例 Ito, E., Kubo, A., Katsura, T., Walter, M. J., Melting experiments of mantle materials under lower mantle conditions with implications for magma ocean differentiation, P*hys. Earth Planet. Inter.*, 143-144, 397--406, 2004.

2)

3)　題名（日本語論文は和文表記）

 著者名，著者名，著者名

 雑誌名**巻**, 000-000 (19xx)

**注**　１．原著論文は，レフリー付きのもの。大学の紀要等は，入れない。

　　２．印刷中のものは, 記載する。投稿中のものは, 記載しない。

　　３．和文誌であっても発表論文が英文の場合は，掲載誌名も英文表記する。

　４．和文誌は略記しない。欧文誌名の記載は, 常用されている略記表記とする。また,原著論文

の項目の最後のスペースに,すべての欧文雑誌名の略記および雑誌名の一覧を付ける。

３．国際学会プロシーディングス **注**プロシーディングスは主要なもの

1) Title. Author(s)

 *Proc. 15th International Congress of* , 000-000 (19xx) (London, U.K.)

2)

４．総説（日本語論文は和文表記）

1) Title. Author(s)

 *Journal* **volume**, 000-000 (19xx).

2)

５．著書（日本語書は和文表記）

1)

2)

（様式４）

**研究業績目録**

６．特許

1)

2)

７．外部資金（使途の特定された資金）の獲得状況

（種目，課題名，交付年度，交付金額，代表者・分担者の別等を記入のこと）

1)

2)

８．外部資金（寄付金・雑収入等の使途の特定のない資金）の獲得状況

（種目，課題名，交付年度，交付金額，代表者・分担者の別等を記入のこと）

1)

2)

９．Q１ジャーナル論文・国際共著論文等

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 区　　分 | 数 | 参考事項（様式４の２「原著論文」の番号を記入） |
| Q1ジャーナル論文 |  |  |
| 国際共著論文 |  |  |

１０．職務上の実績に関する特記事項

下記の観点で、特にアピールしたい特記事項があれば記入のこと。

A. 資格，免許

B. 職能団体等からの実務家としての卓越性に関する評価・推薦等

C. 論文の特筆すべき引用実績

D. どんなプロジェクトを行ったか等の特にアピールしたい内容

E. その他

（様式５）

**研究・教育についての計画と抱負**

※Ａ４判用紙２枚程度フォントの大きさは11.0ポイント

※図表を含めてもよい

（様式６）

**応募者について照会に応じられる方**

氏名：

所属・役職：

住所：

メール：

電話番号：

氏名：

所属・役職：

住所：

メール：

電話番号：